

一人でも多くの人が陸上競技を楽しみ、 そして関わり続けるために

日本陸連は、2017年に「JAAFビジョン」を取りまとめ、日本の陸上競技界を統括する団体としてのミッションを明らかにしました。2018年には、特に若い陸上競技者を取り巻く現状を踏まえ、これからの競技者育成の方向性を示す「競技者育成指針」を公表し、全国への普及啓発を進めています。

これからの競技者育成の方向性

日本陸連のミッション

JAAFビジョン(2017)より

トップアスリートが活躍し、
国民に夢と希望をもたらす

国際競技力の向上

すべての人が陸上競技を
楽しめる環境をつくる

ウェルネス陸上の実現



競技者育成指針 (JADM : JAAF Athlete Development Model)

「陸上競技の普及」と「競技者の育成・強化」の両面を見据えた、日本における陸上競技者育成の方向性を具体的に示したものです。

タレントトランスファーガイド

小中学校期のタレントプールの拡充、中高校期のタレント育成の充実、そして高校期以降のタレントトランスタラーニングへの発展というプロセスの重要性を、エビデンスに基づき解説しています。